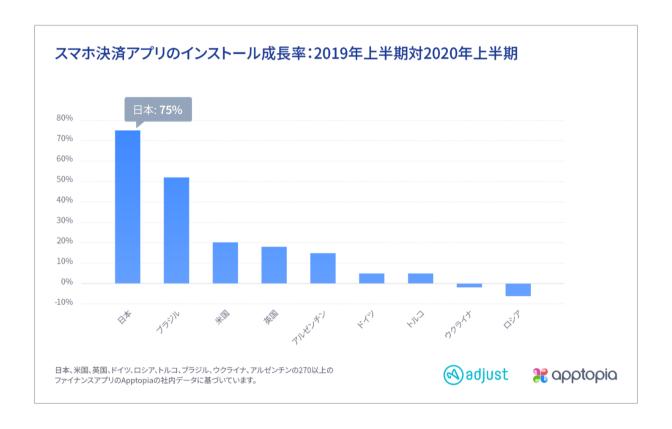


Adjust 調査: 2020 年上半期、新型コロナウイルスの影響により ファイナンスアプリの利用が急増

Adjust と Apptopia の最新レポートでは、日本におけるフィンテック分野の急成長が明らかに - スマホ決済アプリの平均インストール数とセッション数は 75%増、バンキングアプリのインストール数とセッション数はそれぞれ 22%および 142%増

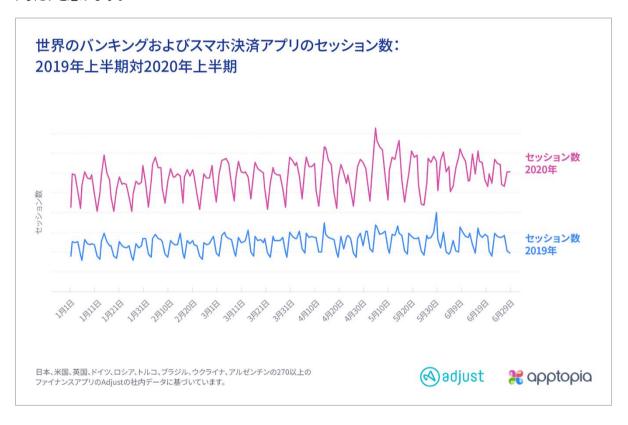


グローバルに展開する B2B SaaS 企業である adjust (アジャスト) 株式会社 (本社:独・ベルリン、代表取締役社長 兼 共同創業者:クリスチャン・ヘンシェル、日本ゼネラルマネージャー:佐々直紀)は、アプリインテリジェンスプロバイダーの Apptopia との共同調査による「モバイルファイナンスレポート 2020」をリリースしました。バンキング・スマホ決済・投資アプリのグローバルベンチマークを提供する本レポートは、2020年、すでに急激に伸びていたファイナンスアプリの成長を新型コロナウイルスが大幅に加速させたことを示しています。

また日本では、消費税の増税時、2019 年 10 月以降に実施された政府主導の「キャッシュレス・消費者還元事業」の影響でキャッシュレス化が進み、スマホ決済アプリが大きく成長を遂げました。このアプリのインストール数とセッション数は共に昨年の上半期と比較し、75%と高い成長率を見せました。

Adjust 日本ゼネラルマネージャー 佐々 直紀

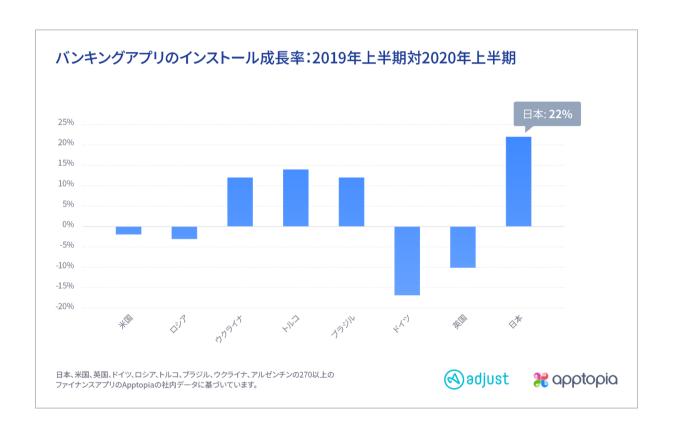
経済大国でありながら、キャッシュレス化が他の先進国と比較していて遅れていた日本ですが、この 1 年間で目覚ましい成長を遂げました。突出している決済アプリはもちろんのこと、インストール数においてバンキングアプリは 22%、投資アプリも 12%の成長率を見せ、今後ますますフィンテック分野における成長が期待できます。国際的に最も厳格なプライバシー法に準拠している Adjust は、セキュリティに厳しいファイナンスアプリのお客様にも安心してご利用いただけるサービスを今後も提供し続け、この分野の発展に貢献してまいりたいと思います。



Adjust と Apptopia が集約した世界の主要国の 2019 年と 2020 年の上半期のデータを比較したところ、以下の点が明らかになりました。

◆ 本調査の対象国全体で、バンキングアプリおよび決済アプリのセッション数が合わせて平均 26% 増加しました。すべての国においてセッション数が増加しましたが、特に顕著だったのは日本 (142%)、ドイツ (40%)、トルコ (31%)、米国 (27%) です。ソーシャルディスタンスが求められる中、モバイルで取引を行うユーザーが増加しています。

- ユーザーがスマートフォンから直接株取引を行える投資アプリが大きく成長しています。2020 年 1 月から 6 月にかけて、1 日あたりの平均セッション数は 88%増加しました。Acorns、Gatsby および Stash などのトレーディングプラットフォームが提供するアプリは、投資をより簡単で手の届きやすいものにすることで普及に貢献しています。世界的に見ると、投資アプリは 2020 年に Adjust が計測したアプリカテゴリーの中で 2 番目に成長率が速いカテゴリーであり、カジュアルゲームやハイパーカジュアルゲームなどの他の人気カテゴリーを追い越す勢いでした。
- スーパーアプリは引き続きモバイルのトップトレンドとなっています。LINE や WeChat、KakaoTalk などのスーパーアプリ (様々なサービスを統合したアプリ) がアジアで広く普及する中、「スーパーアプリ 戦略を追求する Revolut なども他の地域で急成長しています。



バンキングアプリの成長を示すインストール数

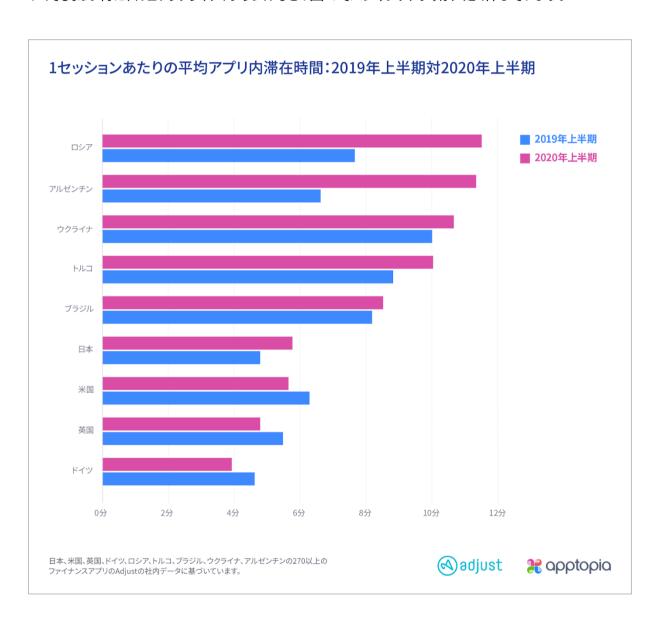
本レポートの調査対象国の中でバンキングアプリのダウンロード数が最も多かったのは日本で 22%の成長率を達成しました。しかしこれは例外で、Apptopia のデータによると、経済が発展している他の国々では、 過去 12ヶ月インストール数が減少しています。 逆に、新興市場においては急成長していることがわかります。

Adjust 創業者兼 CTO ポール・H・ミュラー

新型コロナウイルスが金融業界とモバイルデジタルサービスに与えた影響を侮ってはなりません。バンキング分野がここ数年でデジタル化を導入する中、コロナがこの変革を加速させ、銀行口座を持たない世界中の数百万人ものユーザーにバンキングへのアクセスを提供しています。

Apptopia インサイト部門 VP アダム・ブラッカー

多くの国々の経済的傾向を見ると、大手のバンキングアプリは経済が発展している市場で今後苦戦を強いられることが分かります。一方で、世界的に展開しているファイナンスアプリは新興市場で引き続き成長していくでしょう。特にトルコ、ウクライナ、ブラジルなどの国々でバンキングアプリが大きく伸びています。



ユーザーのアプリ滞在時間の増加

2020 年、ファイナンスアプリのセッション数とインストール数が大幅に増加しただけではなく、ユーザーがこれらのアプリに滞在する時間も世界的に増加しています。2019 年上半期は、バンキングアプリおよびスマホ決済アプリのユーザー滞在時間はセッション数あたり平均 7.7 分でしたが、2020 年までに 8.9%増の 8.35分に増加しました。

Adjust のデータからは、世界中の地域でロックダウンが実施された 2020 年第 2 四半期にフィンテックアプリでの滞在時間が最も伸びたことが分かりました。調査対象国の中では、アルゼンチンが前年比 72%の最も大きな成長を見せました。その次はロシアが約 50%増加し、日本は 21%増加しました。

獲得コストが低下し、ロイヤリティを高める機会に

新型コロナウイルスがもたらした経済的・社会的変化に伴い、バンキングアプリとスマホ決済アプリのユーザー獲得コストは急激に低下しました。2020年2月から始まり、有効インストール単価(eCPI)は5月に77.49%減少しました。年の初めに比べて、バンキングアプリは依然として低いコストでユーザーを獲得できています。

バンキングアプリ、スマホ決済アプリおよび投資アプリカテゴリーに関するインサイトは<u>こちら</u>からレポートをダウンロードし、ご確認下さい。

https://www.adjust.com/ja/resources/ebooks/mobile-finance-report-2020/

#

調査方法

世界のさまざまな国々を調査したこのモバイルファイナンスレポートでは、2020年1月1日~6月30日の間に集計した Adjust と Apptopia の社内データを2019年の同期間と比較しています。本レポートは、日本、米国、ロシア、ウクライナ、トルコ、ブラジル、ドイツ、英国(グレイトブリテンのみ)およびアルゼンチンのバンキングアプリ、スマホ決済アプリ、投資アプリを含む270以上のファイナンスアプリを対象としています。インストール数とセッション数の成長率、ユーザーのアプリ内滞在時間、継続率に焦点を当てています。

adjust 株式会社 会社概要

Adjust は、グローバルに展開する B2B SaaS 企業です。モバイルエコノミーの中心で創設され、テクノロジーへの情熱により大きな成長を遂げた Adjust は、全世界で 16 のオフィスを構えています。

Adjust のプラットフォームは、モバイル計測、不正防止、サイバーセキュリティ、そしてマーケティングオートメーションソリューションを提供しています。

マーケティング活動をよりシンプルでスマート、さらに安全なものにすることで、データ主導のマーケターが世界で最も成功した事業を推進できるよう支援します。Adjust は Facebook、Twitter、Google、LINE、Snap、Tencent の正式マーケティングパートナーになっており、国内外の主要広告ネットワークパートナーとも連携済みです。楽天、リクルート、LINE、グリー、ディー・エヌ・エー、メルカリなど国内 600 社以上のトップパブリッシャーを始め、Procter & Gamble、Tencent Games といったグローバルブランドを含む40,000 以上のアプリが、Adjust のソリューションを実装してそのパフォーマンス向上を図っています。2019年6月には、ヨーロッパで過去最大となる資金調達ラウンドの1つを獲得し、2億2,700万ドルを調達しました。

Adjust は、日本においてアプリ計測プラットフォームとして最大のシェアを占めており、東京オフィスは 2014年 11 月に最高売上責任者(CRO) のショーン・ボナムにより設立され、ゼネラルマネージャーの佐々 直紀を筆頭に、30 名以上の営業・カスタマー サポート・マーケティング担当者が日本市場で徹底したサポートを提供しています。

公式ホームページ: https://www.adjust.com/ja

公式 Facebook: https://www.facebook.com/adjustJapan/